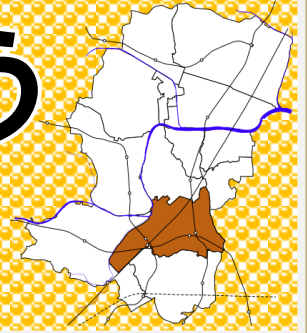




平成 **26** 年度「ひっとプラン港北」**菊名** 地区計画

# みんなであう まちづくり



防災訓練  
(安否確認マグネット)

大倉山ハイム自主防災組織  
(大倉山ハイム管理組合・同管内会)

中途障がい者団体いずみ会



ひろがる } 港北区地域福祉保健計画  
つながる } 「ひっとプラン港北」  
とどく }

知っておきたい  
わがまちの  
取り組みはこちら

- ①3時30分頃、安否確認マグネットをドアの外側に貼り出しましょう！ 訓練が終了したら、しまってください（雨天時も実施）
- ◆8:30～9:10頃（全戸の皆さま）  
安否確認マグネットの「無事です」または「救助求む」のどちらかの面を、貼り出しましょう。
- ◆9:15頃～9:45頃（安否確認板をお持ちの皆さま）  
今年度の安否確認班の皆さま、マグネットの貼り出し状況を確認してください。
- 10:00開始の防災訓練の会場（雨天時は集会所）に、安否確認結果をお持ちください。

## 大豆戸

菊名では3地区ごとに  
取り組んでいます



## 菊名北町



要援護者  
安否確認

## 篠原北



高齢者 110 番



防災訓練（広域避難場所への移動訓練）



\*「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・活動計画の愛称です\*

## ◆わたしたちのまちの特色

- 菊名地区は交通の利便性が比較的良好、公的施設、医療機関、商業施設も多く区内でも早くから開発された地域です。人口は約 42,000 人で、高齢人口が年少人口よりやや多くなっています。高齢化が進んでいる一方で新築マンションが建ち、転入者の多い地域でもあります。
- 新横浜、大豆戸町などは比較的良好平坦な地形ですが、篠原北、錦が丘や菊名の一部などは山坂が多い地形となっています。このように、特徴の異なる地域がまとまって1つの地区を形成しており、抱えている課題が地域ごとに異なる面も見られます。

## ◆これまでの頑張り

- 菊名地区は第一期地域福祉保健計画（平成18年—22年度）でさまざまな取組みを立ち上げ、成果をあげてきました。
- **支えあい連絡協議会**では、菊名駅バリアフリー化の実現、高齢者や小学生の見守り活動、障がい者の会やその支援団体などによるバザー「らくらく市」への参加、「生活安全安心メモ」の作成、また高齢者支援のためのアンケート調査、交通弱者のための階段・坂道など歩行困難道路の調査などを行ってきました。
- **菊名地区社会福祉協議会**では、民児協による一人暮らしの高齢者を対象とした昼食会や子育てサロン等の活動、地域ケアプラザを中心とした子育てフリースペース、高齢者の介護予防サロン、障がい者等との交流事業やボランティア講座など様々に取り組んできました。
- **地域**では、相乗りタクシー、お出かけバス、打ち水大作戦、七夕、ハロウィン等、地域や参加対象も多様な自主的な活動が活発に行われてきました。

らくらく市



公園遊び  
「ぴよんぴよん」

## ◆これから目指していく姿

- 地域の様々な課題を地域で考え、地域で取り組むという地域福祉保健計画「**ひとつプラン港北**」。菊名地区は地域によって住環境が異なることから、それぞれの地域の特性ごとに**菊名北町**、**大豆戸**、**篠原北**の三地区別に計画を立案し推進してきました。
- **菊名北町**は高齢者を地域で見守る高齢者110番のステッカーを地域内の賛同者宅に設置する活動を進めてきました。また民生委員による定期訪問も続きます。
- **大豆戸**地区は障がいのある子どもとその家族について理解を深める取組みを進めました。今後は障がい児の通学支援や放課後活動支援等に参加して、家族との交流を目指します。また「地域活動ホーム」の運営委員会に出席して、情報の交換に努めます。
- **篠原北**地区の交流サロンは高齢者や一般の利用者の参加も増え交流の輪が広がっています。錦が丘町内会では防災訓練、要援護者の安否確認の成果をより高めます。



◆わたしたちのまちの取組み [3地区別]

		取組み【ひろがる つながる とどく】	
		目 標	具 体 策
ひろがる	菊名北町	みんなで支えあう町づくりを目指し地域の高齢者が安心感と連帯感を共有できる地域づくりをすすめます	<b>高齢者110番のステッカー</b> を作成し、地域内70戸の賛同者宅に設置及び冊子の配布を行いました。
	大豆戸	みんなで支えあう町づくりを目指し障がいのある子どもとその家族について、地域での見守りをすすめるため、障がい者への理解を深める取組みを行います	<b>障がい児・者や家族同士の交流</b> を応援し、当事者が抱えているさまざまな問題などの地域での共有を図ります。
	篠原北	みんなで支えあう町づくりを目指し、安心・安全な町を実現するための環境づくりをすすめます	坂道の多い地域を中心に設置した <b>ベンチ</b> は、情報交換したり子育て中の親たちの交流の場として広がっています。ペンキの塗り替え、修理などを随時実施していきます。
つながる	菊名北町	町内会、民生委員児童委員協議会、大豆戸地域ケアプラザ、区社会福祉協議会等と、高齢者への取組みに関する情報の共有化を図ります	防犯パトロールや家庭防災員、老人クラブ等 <b>隣近所への声かけ運動</b> の実施、民生委員の定期訪問を継続して進めています。
	大豆戸	障がいのある子どもと日常密接に関わっている、地域の福祉関係施設などと連携して、障がいのある子どもや家族との交流が出来るような活動への取組みをすすめます	地域ケアプラザ、地域活動ホーム、区社協などの協力を得て、 <b>障がい児の通学支援、放課後活動の支援</b> 等に参加して、家族との交流につなげることを目指します。
	篠原北	一人暮らしの高齢者や災害時要援護者の見守りが出来る地域を目指します	錦が丘町内会 <b>防災訓練</b> では震度5強の地震発生を想定し、要援護者の <b>安否確認と要援護者が参加しての広域避難場所への移動訓練</b> をしています。回を重ねる毎に参加者も増えて意識の高まりを実感しつつ、今後も継続していきます。
とどく	菊名北町	一人暮らしの高齢者や災害時要援護者の見守り活動及び行政と協力し高齢者の安否確認への取組みを行います	地域で高齢者が困った時に気軽に相談できる家を <b>高齢者110番のステッカー</b> で表示し、地域で高齢者を見守っています。
	大豆戸	区社会福祉協議会、地域ケアプラザ等と情報を共有し、障がいのある子どもと家族へ地域の取組みなどの情報を届け、地域との交流の機会をつくりま	障がい児、者、家族の地域行事参加を応援し、地域との交流の機会をつくりま。大倉山ハイム管理組合・町内会合同 <b>防災訓練</b> では <b>安否確認マグネット</b> 掲出と搬送訓練を全戸参加で行うことで、 <b>地域での見守りが障がい児・者、家族に届くこと</b> を目指します。
	篠原北	一人暮らし高齢者の孤立化と引きこもり防止対策として、サロンを活動拠点としたたまり場の交流と助けあいの活動を集めて、見守りネットワークに役立てます	<b>表谷交流サロン</b> は、活動内容に応じて、高齢者に限らず参加者同士が輪を広げ楽しい交流の場となるよう取り組みます。

みんなを支えあうまちづくり

# 菊名地区

11 自治会・町内会  
加入世帯数  
14,732 世帯  
(H26.3 月末現在)

## 菊名北町

- ◆菊名北町町内会(菊名3丁目の一部、4・5・6丁目、7丁目の一部)
- ◆大倉山喜久和会(菊名7丁目の一部、大豆戸町1040~1042)

**高齢者110番**

高齢者が安心感と連帯感を共有できる地域

- ◆大豆戸町内会(大豆戸町※一部を除く)
- ◆大倉山ハイム町内会(大倉山ハイム)
- ◆新横浜町内会・新横浜自治会(新横浜1丁目※アデニウム新横浜以外、2・3丁目)
- ◆アデニウム新横浜自治会

**障がい者を理解しよう**

障がい児とその家族を見守り、理解、交流を深める

## 大豆戸

## 篠原北

- ◆錦が丘町内会(錦が丘、富士塚2丁目の一部)
- ◆表谷町内会(篠原北1丁目の一部、2丁目、篠原町の一部)
- ◆泉ヶ丘町内会(篠原北1丁目の一部)
- ◆ふじ町内会(富士塚2丁目の一部)

高齢者が安全、安心な地域を実現するための環境づくり

### 世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
菊名地区	22,166	42,393	1.91
港北区	161,726	334,668	2.07
横浜市	1,712,603	3,712,351	2.17

\*平成26年3月末現在

### 年齢3区分別人口構成

